

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】令和2年8月27日(2020.8.27)

【公開番号】特開2019-121684(P2019-121684A)

【公開日】令和1年7月22日(2019.7.22)

【年通号数】公開・登録公報2019-029

【出願番号】特願2018-470(P2018-470)

【国際特許分類】

H 01 L 33/00 (2010.01)

H 05 B 47/00 (2020.01)

G 05 F 1/56 (2006.01)

【F I】

H 01 L 33/00 J

H 05 B 37/02 G

G 05 F 1/56 3 1 0 S

【手続補正書】

【提出日】令和2年7月17日(2020.7.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

LED電圧生成部とLED電圧制御部とLED電流制御部と記憶部とを備えるLED輝度制御回路であって、

前記LED電圧生成部は、前記LED電圧制御部から入力されたLED電圧指令値に基づいてLEDに電圧を印加し、

前記LED電圧制御部は、前記LEDのカソード電位に基づいて前記LED電圧指令値を決定し、

前記記憶部は、輝度と目標LED電圧指令値との対応関係を予め定めたルックアップテーブルを記憶し、

前記LED電流制御部は、所望の輝度と、これに対応する前記ルックアップテーブル内の目標LED電圧指令値と、前記LED電圧指令値に基づいて前記LEDに流す電流値を制御する、

LED輝度制御回路。

【請求項2】

請求項1に記載のLED輝度制御回路であって、

前記LED電圧制御部は、前記電流値に所定の演算をして得られた値を前記カソード電位の目標値として設定し、前記目標値と前記カソード電位の実測値との比較結果に基づいて前記LED電圧指令値を決定する、

LED輝度制御回路。

【請求項3】

LEDを備える装置であって、

請求項1又は請求項2に記載のLED輝度制御回路を更に備え、

前記LEDの輝度が、前記LED輝度制御回路によって制御される、
装置。

【請求項4】

請求項 3 に記載の装置であって、

前記装置は、照明装置、表示装置、画像処理装置、又は医用画像装置である、
装置。

【請求項 5】

L E D 輝度制御方法であって、

L E D に電圧を印加する電源のコントローラから当該電源に入力された L E D 電圧指令
値に基づいて、前記 L E D に流す電流値を制御し、

前記 L E D 電圧指令値は、カソード電位に基づいて決定され、

輝度と前記 L E D 電圧指令値との対応関係を予め定めたルックアップテーブルを記憶し

所望の輝度と、これに対応する前記ルックアップテーブル内の L E D 電圧指令値と、実
際の前記 L E D 電圧指令値とにに基づいて前記電流値を制御する、

L E D 輝度制御方法。

【請求項 6】

コンピュータに、所定の機能を実現させる L E D 輝度制御プログラムであって、

前記所定の機能では、L E D に電圧を印加する電源のコントローラから当該電源に入力
された L E D 電圧指令値に基づいて、前記 L E D に流す電流値が制御され、

前記 L E D 電圧指令値は、カソード電位に基づいて決定され、

輝度と前記 L E D 電圧指令値との対応関係を予め定めたルックアップテーブルを記憶し

所望の輝度と、これに対応する前記ルックアップテーブル内の L E D 電圧指令値と、実
際の前記 L E D 電圧指令値とにに基づいて前記電流値を制御する、

L E D 輝度制御プログラム。